

スペースデブリ問題に関する環境省内検討チームについて

令和2年7月29日

1. ねらい

- 2009年から行っているGOSATシリーズによる温室効果ガスの観測は、パリ協定の目標達成に向けた進捗管理に必要ないわば国際公共財。国際的にも高く評価され、観測継続が期待されている。
- しかしながら、近年のスペースデブリの増加は、宇宙空間を継続的に安定利用する上での大きな懸念事項。
- 環境省は、衛星の適切な運用と適正な処分を事業主体として責任を持ち、自ら実施する考えであり、特に打ち上げから11年を経過したGOSAT1号機のスペースデブリ化の防止と、持続可能性の確保に向けた知見集積・情報発信に向け、省内に検討チームを立ち上げ、JAXAをはじめ関係機関の協力を得つつ対応策をまとめる。また、得られた知見を国内外に発信する。

2. 検討チームの構成

チーム長 : 近藤地球環境審議官
副チーム長 : 松澤環境再生・資源循環局次長
副チーム長 : 白石大臣官房審議官
チーム員 : 土居大臣官房審議官
地球環境局総務課脱炭素化イノベーション研究調査室長
同 室長補佐
環境再生・資源循環局総務課長
同 課長補佐
国立環境研究所衛星観測センター 観測センター長
(ほか、外部協力者として、関係機関に協力を要請)

備考) 本検討チームの庶務は、地球環境局脱炭素化イノベーション研究調査室において処理する。

3. 当面のスケジュール

- 3月26日 チーム設立(検討事項の確認)
- 6月12日 第1回開催(国内外の動向、GOSATの活用状況、主なステークホルダーなどについて情報共有など)
- 7月8日 第2回開催(国内外ガイドライン・衛星運用継続判断の指標・ステークホルダーと調整方法など)
- 7月末-8月上旬 第3回書面開催(GOSAT運用継続可否の判断指標、運用停止後の処分方法)
- 8月下旬 第4回開催(中間とりまとめ、今後のスケジュール)